

第三学年始動



A組担任に古川先生、副担任に高橋先生を迎え、3年担任団が新体制となりました。平塚は学年主任と合わせてB組担任となりました。

1学年80名定員のところ80名在籍している3年生をそのまま卒業させることと、高い進路実現が今年目標です。この目標は生徒諸君・御家庭の協力なしには達成できません。よろしくお願いいたします。

3年A組の乗船について

本来なら昨年実施していたはずの航海学習が、遅くなってしまい申し訳ありません。この度ようやく5月に実施する目途が立ちました。先日開催した保護者説明会におきましては急な開催にもかかわらず、多数御出席いただきありがとうございました。

乗船に伴い、3年A組の諸君が他のクラスと違うことがありますので注意してください。

- ① 連休明けの帰省が一日遅れ5月8日になります。(乗船しない人は他の休日に登校となります)
- ② 乗船後、2日授業がありません。
- ③ 第1回考査がありません。(考査期間中は午前中通常授業です)

乗船の期間は5月10日～20日と5月24日～6月3日です。小笠原寄港を予定していますが、海況によっては屋久島、瀬戸内海に変更することもあります。また、最悪の場合東京湾から出られないこともあります。乗船の前日は1日乗船前指導になります。

乗船教官は網谷先生と1次航海が平塚、2次航海が磯貝先生となります。

新入生オリエンテーション

4月8日生徒会主催の新入生向けオリエンテーションが行われました。各委員長の挨拶や、部長の話などで3年生がリードする姿に学校の中心であるなとつくづく感じました。冒頭の会長挨拶は黒澤君ならではのものを感じましたので、全文掲載させていただきます。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生を代表してスピーチさせていただきます、3年国際系の黒澤礼央です。

さて、皆さんはどのような思いを抱き、この大島海洋国際高校に入学したのでしょうか。明確な夢や目標を持ち入学した人・何となく入学までの時間を過ごしてしまった人、色々な人がいるでしょう。

思い返せば、もう2年前、私は皆さんと同じように、この学校に入学しました。特に夢や目標を持たずにです。なんとなく学校生活を送っていると、夢や目標がないが故に多くの失敗をしました。小学校から続けていた野球は辞め、先生には毎日のように怒られ、成績も低迷しました。

一方で、夢や目標を持っている生徒は全く逆の高校生活を送っています。明確な進路の目標を立てていた友人は、安定して高い成績を取り続けています。高い目標を立てて部活に取り組んでいる友人は良い成果を上げています。

皆さんはまだ海国に来て2日目です。部活も決めていなければ、授業も受けていません。つまり、まだスタートラインにいます。是非、この早い段階で明確な夢や目標を立て、高い志で、勉強と部活に励んでください。

また、もう一つ伝えたいことがあります。皆さんの多くが島外から入学していると思います。島の人達は、そんな私たち海国生にとっても注目しています。悪い行動すれば島内での海国生の評判はすぐに下がります。逆に良い行動をすれば島内での海国生の評判は高まります。決して外からの目線をどうでもいいと思わないでください。皆さんが、おそらく唯一高校生活を送るであろう地です。住民票も大島に置き、島民となったんです。この島での全ての縁を大切にしてください。

島の人はとても優しく温かい心を持っています。私たちが校訓にもある誠実・礼節の心をもって人と接すれば必ず良い関係が築けます。

島の一員として、規律を乱さずに生活してください。これから楽しい学校生活を共に過ごせることを願って代表挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



第三学年の保護者会等行事予定

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 大島保護者会 | 6月6日~12日 (全体会12日 19:30~) |
| 在京保護者会 | 6月15日(練馬工業高校)~16日(工芸高校:11時より全体会) |
| 在京保護者会 | 9月28日(教職員研修センター)~29日(未定) |
| 大島保護者会 | 10月2日~9日 |
| 大島保護者会 | 12月19日~24日 |
| 在京保護者会 | 12月26日~27日(両日:教職員研修センター) |

新担任・副担任より

「断固たる決意」を胸に！ [3A担任 古川先生より]

「断固たる決意」という言葉を聞いたことがある人はいますか。この言葉は、私の大好きな、あるバスケットボール漫画に出てくる言葉です。この漫画に登場してくる主人公は、超がつくほどの不良少年で、中学時代から喧嘩に明け暮れ、高校入学後も早々に先輩と悶着を起こしてしまうほどです。

そんな彼が、あることをきっかけにバスケットボールに出会います。もちろん初心者です。入部当初は部内でもトラブルを起こし、悪い意味で周囲から一目置かれる存在でした。しかし、彼は入部を機に、「不良」というキャラクターを捨て、全国制覇という断固たる決意のもと「バスケットボールマン」として生活するようになります。結局全国制覇はできませんでしたが…。

この漫画を通して、私が皆さんに伝えたいことがあります。それは、“変わることを恐れるな”です。何かにかむしゃらになって取り組みたいのに、自分のキャラがあるから…。と思わないでください。特に今、皆さんには未来への「断固たる決意」があるはず。その決意を達成するために、本当に必要なことが何か今一度考え、実践しましょう。

保護者の皆様、初めまして。昨年度11期担任をしておりました古川勝也と申します。今年度は池田先生とタッグを組ませていただきます。12期のために尽力していく所存です。これまで12期のために多くのご支援・ご協力をいただいていることと存じますが、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

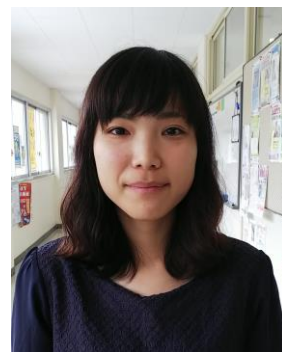


千里の道も一歩から [副担任 高橋先生より]

新年度が始まり、早速進路実現に向けて行動を起こしている人たちがたくさんいることに感心しています。私のもとにも既に小論文の添削をお願いに来ている生徒がいます。一方、まだ何も始めている人がいることも事実です。

みなさんはこれまで、卒業後の進路について、担任の先生をはじめとした先生方の指導のもと、具体的に、そして現実的に希望を固めてきたことと思います。進学したい学校を定め、その学校に行きたいという思いを膨らませ、受かりたい、頑張りたいという気持ちを高めていることでしょう。…しかし。「気持ち」だけでストップしてはいませんか？もちろん、この学校に行きたい！という強い気持ちは大切です。それがモチベーションに繋がるからです。しかしながら、その学校に行けるための、合格を勝ち取るための行動を起こしていなければ、合格への道は一歩たりとも進んでいないのです。つまり、何もしていないことと同じです。受験科目だけ調べて満足していませんか？テキストだけ買って満足していませんか？そろそろ「気持ち」から「行動」へ転換していきましょう。

副担任としてみなさんと関わることができて嬉しく思います。この1年一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。



主観と客観のあいだ（間ではないが語感が気持ちいいので）

[3A 担任 池田先生より]

去年の九月に疲労骨折をしてから後、暮れはリハビリに費やした。年始から恐る恐るではあるが徐々に脚を作っている。ようやく月間 200 km を越える月が複数回重なるようになってきた今日この頃、傷はすっかり癒え、調子もうなぎ上りである。一言で言えば絶好調である。練習も日に日にハードになり、体は日に日にスーパーになっている。ドイツ語で言えば *einmal hart, immer super* である（ちょっと違う）。

ただしあくまでも主観の域を出ていないので客観的な情報が欲しくなってきた。敵を知り己を知れば百戦危うからずと言うように、自分を知らなくてはならない。英語で言うなら、*slow and steady wins the race* である（全然違う）。そこで来る五月 11 日に開催される伊豆大島ジオパークマラソンの 5 km の部に出場することにした。試合の場でどれほど走れるか、ここで主観と客観のすり合わせを行う。

翻って君たちである。勉強している「つもり」になっていませんか。丁度帰省配布物の中に模試の案内が入っています。ぜひ君たちの学力も主観と客観のすり合わせを試みることを期待する。また、身だしなみや生活態度の面でもこれを行ってほしい。君たち自身がどう思っているかは知らないが、私から言えば、敢えて言おう、全然なっていない、と。学力・体力・身だしなみ全てを整えて進路実現に邁進することを望む。

Try not. Do or do not. There is no “try”.

[3B 担任 磯貝先生より]

銀河系最高の剣士にしてジェダイの騎士の導き手、マスター・ヨーダの言葉です。「スターウォーズエピソード 5 帝国の逆襲」で、フォースの修行に集中できない最後の弟子ルーク・スカイウォーカーに向けられた言葉で、名作映画の名台詞 100 選で 1 位に輝いた台詞でもあります。『「やってみる」ではない、「やる」か「やらぬ」かだ。試しなどいらぬ。』厳しい言葉ですが、本気になれない弟子に発破をかけているのでしょう。

さてさて、12 期生の皆さんは修行（学習）に身が入っているでしょうか？1 年生の時から進路について・学習についてはクドクドと言いつけて来ましたが、そろそろ待った無しとの状況となってきました。12 期生は全体的にスロースターターな人が多いので、担任としては非常にやきもきしています。頼れる先生を新たに担任に迎えられて、こちらの準備は万端ですよ。6 月から 7 月にかけて、受験に関する説明会や面接試験の指導、丸一日進路活動をする「進路指導の日」、模擬試験等、様々な活動を行う予定ですが、最終的には皆のやる気が何よりも必要です。

ちなみに、ヨーダの忠告を聞き入れずに、修行を放り出して飛び出したルークは右腕を失ってしまいました。何かを失って悔やむ位ならば、今できる事に全力で取り組みましょう。努力は絶対に報われる！とは言えませんが、報われなかったとしてもその努力は必ず次に繋がります。May the force be with you.

国際系 A 組乗船実習

5月10日から20日までと5月24日から6月3日までの2回にわたり、小笠原寄港の航海実習が行われました。本来なら昨年行われるはずでしたが、諸般の事情にて1年遅れでの実習になってしまいましたことは、申し訳なく思っております。



実習前は希望者が少ないのではないかと心配でしたが、海洋科諸君からの「実習が良かった」という話もあり、9割の諸君が参加してくれたことは非常に嬉しいことでした。また、各航海の出港を見送りましたが、4回の実施にも関わらず気持ちよく見送っていたことは、A Bの隔たり無く過ごしている証拠だと思います。いつまでのこの関係を続けて欲しいものです。

前半乗船の高安君の感想を掲載します。

高安 聖人

私は、11日間の乗船を終えて、一番最初に思ったことは仲間と協力する事の大切さです。今回の乗船中、私は仲間にとっても助けられました。酔っていて思ったように行動できない時に、動ける人が積極的に私の分まで働いてくれました。辛い時に声もかけてくれました。前半は全然動けませんでした。後半は酔わずに、積極的に任せられた仕事をする事ができました。私が酔わずに動けるようになったのは、慣れたということよりも、声をかけたり私の分まで働いてくれた仲間のおかげだと思っています。このような行動を仲間がしてくれていなかったら、私は最後まで酔って動けずにいたと思います。とても感謝しています。

その後、感謝を返すために、まだ動けない人がいたので、私がされたことと同じような行動をし、仲間と助け合いました。動けない人の分まで何かをしたときに、「ありがとう」と言われました。自分から手伝いをしたときに言われた時はとても嬉しかったです。これからも生きていく中で、協力し、助け合っていく事は大切なことで必要な事だと思いました。よく、一人で生きていくのは無理だと聞きますが、改めて、一人で生きていく事は無理だと実感しました。船の中で協力し、助け合い、辛い事をしたので、上陸したときはとても楽しかったです。私は11日間というとても短い時間でしたが、たくさんの自然に触れ、仲間との協力や助け合いの大切さを知ることができました。とても充実した乗船実習になりました。今回学んだことをこれからの人生にしっかりと活かし、信頼され頼られる人になっていきます。

新入生歓迎スポーツ大会

女子はバレーボール、男子はバスケットボールとサッカーでした。3年生の実力を発揮したというような形になりました。優勝はバレーボールとバスケットボールが3A、サッカーが3Bでした。クラス対抗の総合優勝は3A3Bという形になりました。応援も各クラスまとまって声を出し、盛り上げていました。成長を感じ頼もしく感じました。

4月に行われた実力診断テストの成績番付

平成31年4月 実力診断テスト場所				
	総合	国語	数学	英語
横綱	A 宮野	B 市之瀬	B 安田	A 宮野
大関	B 林(叶)	A 杉浦	A 中田	B 林(叶)
関脇	B 市之瀬	B 松川	A 瀧口	A 中嶋
小结	A 中田	B 山田	A 辻(乙)	B 山田
飛躍者 ゾーンが上昇した者	A 原島 B 市之瀬 B 松川	B 安田	該当なし	

第1回定期考査番付表 (A組みは試験がありませんでした)

科目	区分	横綱	大関	関脇
現代文B	必修	前田弦己	小澤	小池 長濱
政治経済	選択	林叶太	菊田	本澤
日本史A	必修	林叶太	長濱 前田	市之瀬 小澤
数学I A演習	選択	小澤涼雅 (少人数なので横綱のみ)		
音楽II	選択	市之瀬瑞季	柴田広大	林叶太
航海計器(4単位)	選択	石津遼雅	山本	岩隈 森
船舶運用	選択	石津遼雅	森	柴田
ダイビング	選択	長濱ひらり	安田	福島
マリンスポーツ	選択	福島溪斗	長濱	小池
航海計器(2単位)	選択	福島溪斗	菊田 長濱	安田
資源増殖	選択	小澤涼雅	堺	前田
海洋生物	選択	堺颯太	小澤	林(玄) 前田
海洋環境	必修	前田弦己	小澤 長濱	菊田
総合英語	必修	長濱ひらり	堺 林(叶)	前田
平均点	B組全体	林叶太	長濱	前田

6月15日(土)：練馬工業高校、16日(日)：工芸高校にて在京保護者会

全体会は16日11時より水道橋駅前の工芸高校にて開催します。

夏季休業中の進路指導について

都内においては8月に水道橋の教職員研修センターにおいて3日間づつ2回にわたって小論文・志望理由書・面接・質問対応を実施します。日程は7・8・9日と21・22・23日です。島内においては今のところ日程は定めませんが、連絡して教員が可能な時に随時受け付けます。

日常の様子を見ても、受験を控えた学年の様子には見えません。予備校等の夏季講習に参加して、ぜひ刺激を受けてきてください。大学受験を目指している人はしっかり勉強しています。その人たちと大学で競争するわけですから、そのことを踏まえて足元を固めておいて欲しいと思います。

セーリング部遠征結果

6月8・9日に江の島にて行われた関東大会において、男子6位、女子8位となりました。男子は5位までインターハイに出場出来たそうです。今までで一番良い結果であったとのことので残念です。7月20日に国体予選があります。前回、都大会で優勝しているので、ぜひ頑張ってください。

私の黄金体験

[3A 担任 池田先生より]

小学一年生といえば、ランドセルに黄色い交通安全のカバーを付けます。周りの友人たちは学校生活に慣れていく中でなぜかそれを外していきました。私はなぜかそれを付け続け、二年生に進級するまで黄色いランドセルを背負っていたものでした。晴れて二年生に進級する前夜にそれを取り外すと、まるで新品のような僕のランドセルが、一年間使い続けたのにもかかわらず初めて目にするようなピカピカのランドセルが姿を現したのでした。この経験が「ものを大事に使う」ことの良さを私に教えてくれたようで、以来私はものを大事に使うようになりました。私の筆箱は小学五年生の頃に買ったもので、三十歳を越えました。そろそろしゃべり始める気配です。

小学校入学以前のいつか、私は友人家族に連れられて外出に出かけ、お子様ランチ（私の次男（四歳）は「オコサラマンチ」と言う）を食べました。日ごろから食べ物は残さず食べるよう躾けられていたので、付け合わせのパセリも当然たらいげました。すると友人の母（綺麗な方。「三十年早く生まれていれば」と悔やむような）が「あきちゃんはパセリまで食べてエライわねー」と褒めてくれた。天にも昇るほど嬉しかったので、一層食べ物は残さず食べるようになりました。

以上の二つは人に誇れる特質を得た有り難い経験です。妻のご両親に結婚の許諾をいただきに行った際、「私は誰よりもものを大事に使い、食べ物を残しません」と伝えました。それまで我々の結婚を渋っていたお義父さんはその一言で「うむ（Gut（グート））」と言い、あっさりとして許していただいたものです。

翻って君たちです。乗船実習という稀有な体験を、どういう形であれ今後活かしてもらいたい。様々な黄金のようにキラキラ光る体験があったはずです。

追伸：先日のジオパークマラソンは18分16秒で優勝しました。16分台を狙っていたら16秒台になりました。この経験を糧にまた頑張ります。

咀嚼と己

[3A 担任 古川先生より]

私は体育だけの教員ではありません。昨年度は 12 期の「保健」の授業を担当しました。今日は保健の話をしてします。

さて、みなさんは毎日朝食をしっかりと噛んで食べていますか？普段何気なくしている食事が、学力に大きく関係していることをみなさんにご存知でしょうか。1 年次の保健の内容を覚えている人がいるならば、この時点で合点がいくでしょう。

「食事」とは「栄養素を補給」することです。朝食で米やパンなどの炭水化物を摂取すると、体内で消化酵素によって分解・消化され、最終的にブドウ糖になります。脳の唯一のエネルギー源がブドウ糖です。さらに、よく噛む（咀嚼する）ことで、脳に刺激を与えます。その刺激により脳細胞の活動が活性化し、脳の血流が良くなります。その結果、脳機能の活動も活性化します。

平成 28 年度全国学力調査において、小学校 6 年生、中学校 3 年生のどちらでも、朝食を全く食べていない児童・生徒と比べ、毎日しっかりとっている児童・生徒では、国語、数学の正答率がどちらも 20%ほど高いという結果が出ています。また、平成 23 年には、小学生が対象ではありますが、よく噛んで食事している児童とそうでない児童の学習意欲の違いについて調査されました。結果は、よく噛んでいる児童が、そうでない児童の学習意欲よりも 2 倍近く高い水準にあることがわかりました。

これまでの話を聞き（読み）、明日から、朝食をよく噛んで食べないわけにはいきませんね。さあみんな、咀嚼筋を使って脳を鍛えよう！

「環境」より「学ぶ意思」が有れば良い

[3B 担任 磯貝先生より]

日本最古の女性留学生で、女性の教育に生涯をささげた才媛、津田塾大学の創始者でありこの度目出度く 5000 円札の肖像に抜擢された津田梅子さんの言葉です。岩倉具視や大久保利通、伊藤博文らと共に、わずか 6 歳で渡米し 10 年間にわたりアメリカ各地を巡りヘレンケラーやナイチンゲールとも会談をしたそうです。学習にも余念が無く、英語に留まらずフランス語とラテン語まで身に付けました。帰国後は女性の高等教育に尽力し、津田塾大学の前身である女子英学塾を開校しました。当然、当時は「女性の高等教育」が必要とされていない時代です。女性の高等教育を行うには様々な反発や障害があったでしょう。恵まれた環境では無かったはずですが、「環境よりも意思」、困難に立ち向かった梅子さんらしい入魂の言葉ですね。

所で、環境が整っている 12 期生の皆さんの学ぶ意思はどうでしょうか？私は今回津田梅子さんの事を調べてみて、「現代は環境が整い過ぎていて、逆に学ぶ意思が低くなってしまっているのでは？」何て事を思いました。先日、第 1 回考査について話していた時、とある生徒が「考査に集中するために、進路活動はいったん止めます」と言っていました。これは、決して「考査を頑張る！」と言う前向きな思考ではありません。「理由を付けて大変な事から目を背ける」後ろ向きな思考の様に思えます。勿論、第 1 回考査も重要ですのでウエイトの調整は必要ですが、基本的には「考査も進路活動も両方頑張った人」が自身の進路を実現させていきます。もっと言えば、君達はその「両方頑張った人」と戦って行くのですから、「どちらかしかやっていない人」が勝てる訳がありません。

6 歳で渡米するような覚悟を君達に問うつもりは有りませんが、この時期に必死にならずに何時必死になるのですか？理由を付けて楽な道を進んでいては、君達の進路は実現しません。環境は整っています。12 期生の意思を示して下さい。



式根島遠足

開校以来続いている伝統行事「第三学年式根島遠足」を実施することができました。雨の中でしたが、全員で行くことができました。それぞれ島内を自転車で巡り、楽しそうでした。池村様には当日のアドバイスをいただいたほか、大変お世話になりました。



WBG(Water Boys&Girls 選手権大会)

7月15日、小雨の中での開催となってしまいました。B組は半数が遠征や乗船で不在でしたが、優勝しました。

潜水部新島オープンウォータースイミング大会

500m女子の部で下村さんが優勝！！そして第3位に水橋さん、第5位宮本さんが入賞



野球部東東京大会

7月13日(土)大田スタジアム対戦し、7点取得したものの、サヨナラ負けを喫してしまいました。逆転また逆転という白熱した試合でした。感動をありがとう。

カッター部遠征報告

7月14日岩手県宮古市でおこなわれたカッターレース大会に招待され、大学生と対戦する特別レースで優勝しました。7月20・21日には宮崎市における全国大会に出場します。

水産・海洋高等学校産業教育意見・体験発表東海大会

6月28日、三重県鳥羽水族館において、東海地区の9校の代表が集まり水産・海洋高等学校の生徒意見体験発表大会がおこなわれました。本校からは3年生の本澤さんが出場しました。惜しくも入賞を逃しましたが、全文を掲載します。

創部15年目の挑戦

3年海洋系 本澤菜摘

わたしの所属するセーリング部は今年で創部15年目を迎え、主に2つの目標を掲げて毎日波浮港や大島の沖で練習を行っています。1つはインターハイに出場すること、2つ目がヨットで大島一周をするという目標です。

そして今日は大島一周のことについてお話ししたいと思います。わたしが初めて大島一周にチャレンジしたのは高校1年生の夏合宿でした。セーリング部では、普段わたしたちが生活している寮に泊まり毎年夏合宿を行っていてその1週間の合宿の中で大島一周にチャレンジしようという計画でした。1年生のときは先輩方も大島一周にチャレンジしたことはなく、全員が初めての挑戦でした。そのため、わからないことが多く先生方にチャートの引き方を教えてもらったり一周の計画を立てるのを手伝ってもらったりとたくさんの人の協力で準備を整えることができました。

迎えた本番の日、伊豆大島には台風が接近していました。霧での視界不良、4m以上あるうねり、そして強風。天候は最悪でした。天候を見て出ようという話になりましたが、結局堤防から沖に出るのは危ないということになり中止、沖を前にしてチャレンジは失敗に終わりました。港から出てスタート地点にも立てずとても悔しかったです。そして、来年こそはリベンジをしようと全員で誓いました。

それから1年、夏合宿が近づき大島一周についての計画を立て始めました。実行日、予備日、海上でのごはん、予備部品、交代スケジュール、チャート。決めなければならないことはたくさんあります。チャートは全員が理解できるように先生に特別講義を開いていただき、位置入れのやり方、どこで何時に変針をして物標はどれを使うのかなどを教えてくださいました。ごはんは自分たちで数を計算し先生と相談をし、交代のスケジュールや予備に持っていく部品については全員で集まり意見を出し合って何回も確認を行って決め、前年度の反省を生かしより綿密に計画を立てました。しかし、自然相手のスポーツなので何が起こるかはわかりません。

夏合宿がちょうど始まる頃、昨年異例の進路をたどった台風12号が伊豆大島に接近していました。

わたしたちが普段練習を行っている波浮港は大荒れ、先生方が必死に艇を移動させてくださいましたが練習に使っている艇は風穴が空きぼろぼろに。到底使えるような状態ではありませんでした。合宿が始まり、最初はもうどうしようもないと諦めかけていましたが、OBの方々が修理を手伝って下さり何とか出艇ができる状態になりました。

そして当日、天候は晴れ、風速およそ4m前年と変わっていい天気でした。ほぼ定刻通りにスタート、最初は風が上がり心配しましたが途中からある程度吹いてきて順調に進み、このままいけば絶対に達成できる、そう思っていました。しかし、やはりそううまくはいきませんでした。沈をしてしまったり、交代に当初の予定より時間がかかってしまったりとたくさんの問題が起きました。しかし、1番の問題は潮が強いポイントがいくつかあったことでした。順調に抜けられたものもありましたが、北側の潮が強い地点は大島の島の影に入ってしまう場所だったため風がなかなか入らずポイントを抜けるのに随分と時間がかかってしまいました。そのときすでに1時半、このまま続行するか、それとも曳航で帰るべきか、先生の判断を待つことになりました。2時、安全を考えて曳航をして帰ろうということが先生から伝えられ港まで曳航してもらって帰りました。結果は半周までしかできず、満足する結果にはなりませんでした。

そして今年、1年生の頃に始めたチャレンジも挑戦できるのは今年が最後です。

もう1つの目標だったインターハイは惜しくも1つ順位が足りず出場権を得ることはできませんでした。しかし、まだ大島一周が残っています。わたしはこの2年間の経験で自然の怖さも、協力することの大切さも、何かに本気でチャレンジすることの楽しさも学ぶことができました。2年間の部活でたくさんのことを教えてくれたヨットという競技に感謝し、今年こそは絶対に大島一周を成功させたいと思います。

第2回定期考査番付表

科目	区分	横綱	大関	関脇
現代文B	必修	前田弦己	岡 宮野	辻(乙)
現代文B演習	選択	宮野晴輝	岡	瀧口 中田
古典B	選択	宮野晴輝	杉浦	中田
政治経済	選択	市之瀬瑞季 林叶太	橋本	菊田
日本史A	必修	長濱ひらり	市之瀬 堺	山田
日本史B	選択	宮野晴輝	田島	高橋 永田
世界史B	選択	中條祐介	瀧口	原島 溝渕
数学I A演習	選択	岡結菜	小澤 須藤	今井
化学	選択	辻乙碧	石田	林(叶)
生物	選択	岡結菜 中條祐介 市之瀬瑞季	堺 林(玄)	前田
英語理解	必修	宮野晴輝	中田	岡
総合英語	必修	林叶太	堺	小池 前田
海洋環境	選択	須藤駿一 中條祐介	沖山	原島
航海計器(4単位)	選択	石津遼雅	杉田	岩隈
船舶運用	選択	石津遼雅	岩隈	柴田 山本
ダイビング	選択	長濱ひらり	福島	小野寺
航海計器(2単位)	選択	長濱ひらり	児玉 福島	安田
資源増殖	選択	市之瀬瑞季	前田弦己 宮下葵	青砥
海洋生物	選択	小澤涼雅 前田弦己	堺	林(叶)
海洋環境	必修	前田弦己	市之瀬	林(叶)

仮評定	全体	辻乙碧 宮野晴輝 堺颯太 長濱ひらり
-----	----	--------------------

テニス部遠征

7月14日(日)に行われた都立対抗テニス選手権大会の男子団体戦に出場してきました。1回戦は目黒高校に0-6で勝ち、2回戦は大泉高校に6-0で負けという結果でした。會田くん、池村くんがダブルス、シングルともに大活躍してくれました！応援ありがとうございました。

英語検定合格者

2級 長濱ひらり 中嶋夏一 林叶太 宮野晴輝
 準2級 藤田開 川口サウ 堺颯太 安田隼人 小池康太
 児玉蓮 岡結菜 須藤駿一 辻乙碧

強み

[3A 担任 池田先生より]

「黒い稲妻」や「暁の超特急」など二つ名で呼ばれるようになったレーサーとしての私の強みはレース終盤の驚異的なスパートである。きつい上り坂があればその切れ味はさらに増す。“わかっているけど止められない”という、まさに一撃必殺の伝家の宝刀である。なぜわかっているけど止められないかと問われれば、それはレース終盤やきつい上り坂は、それこそみんなきついからである。みんなきつい中で私一人がいつも以上に頑張るからである。そこに絶望的な差が生じるのである。1日30km走ったり、1週間に150km走ったり、骨が折れるまで走ったり、37℃のなか2時間走っても倒れなくなるまで走ったり、骨盤が浮き出るほど痩せるまで走ったり、そういった特殊な訓練の果てに辿り着いた境地である。

翻って君たちである。夏休みは誘惑も多い。暑いからだらける。学校が休みだから規則的な生活を維持するのも大変である。そんな中計画的に勉強するのはなお大変である。大変だからこそ、頑張ればその成果は倍になって返ってくる。一昔前なら「倍返しだ！」としたり顔で叫びたいくらいだ。この夏が君たちの強みとなることを願う。

ちなみに青春時代の一時を、背骨が折れるほど勉強に捧げた私は今や悠悠自適である。この夏は休暇を利用してドイツ旅行に行く。おいしいビールとソーセージとチーズとワインと・・・今から楽しみで仕方がない。辛い時に頑張ったからこそその明るい未来を堪能してくる心積もりである。

そんな事は出来ません。科学の精神に反します。 [3B 担任 磯貝先生より]

史上最も偉大な女性科学者であり、2019年現在で唯一2部門（化学と物理）のノーベル賞を受賞した人物、マリー・キュリー教授の言葉です。この言葉はインタビューで「研究成果で特許を取らないのか？」と質問された時の返答で、キュリー教授は続けて「この研究は病気の治療に繋がるものです。病人の足下に付けこむなんて、私には出来ません。」と述べています。キュリー教授は度を越した苦学生だった様で、学費で手一杯となり食事も満足に取れず気絶する事も有ったそうです。だからこそ、この高潔な発言にも説得力がありますね。結果、キュリー教授は「放射能」と「放射性元素」を発見命名し、現在に至るまで研究が続けられています。

矜持を持って科学者と言う道を進んだからこそ、後世に名と研究を残す偉人となったキュリー教授、12期生の皆さんは矜持を持っているのでしょうか？矜持とは「自分に自信と誇りを持ち、自制心を持っている」という意味の言葉です。自分に誇りを持つには、自信を付けなくてはなりません。自信を付ける為には、樂をしたい気持ちを自制してやるべき事に必死に取り組まなくてはなりません。根拠のない自信や、「何とかなるでしょ・何とかしてくれるでしょ」と言う他力本願な楽観は足枷にしかならないのです。

先日、自習監督をしたのですが、なんととある生徒は試験直前の自習時間だと言うのに、イヤホンをして居眠りをしていました。しばらく様子を見ていましたが起きる気配は有りません。少しでも良い結果を残して進路活動をして行きたいはずなのに、本気で希望進路を実現する気が有るのだろうか？矜持を持ってもらいたい、矜持を持てるだけの努力をしてもらいたい。持てないのであれば、出来ないのであれば、きっとその進路は実現しません。実現したとしても長続きしません。12期生の皆が、矜持を持って進路活動に邁進してくれることを願います。

[3A 担任 古川先生より（紙面の都合にて休載）]

学校祭

残念ながら、台風15号の影響により、校舎が甚大な被害のため中止となりました。第三学年は舞台発表に挑戦する予定でした。台本の作成まで準備が進んでいたそうです。

海洋系船舶乗船

7月14日から19日までB組船舶系の生徒を対象とした乗船実習が行われました。生徒の感想を掲載します。

色々させてもらって

森 裕翔

私は今回の乗船実習で本来出来ない事をたくさんやらせてもらった。波浮出港時の汽笛を鳴らし、今までしてこなかった気象通報をし、2日間の底釣り実習をし、部署別実習もさせてもらった。私はこれらを通して学んだことが2つある。

一つは、楽しい事やしたい事をするなら、やらなければならないことをしっかりこなさなければならないということだ。今回の乗船実習は今までと違い、かなりゆとりのあるものだった。私たちはそこに甘え、やらなければならないことをやっていなかった。しかも状態がひどかったので教官から注意されて、話し合いをした。その後は、反省内容を徹底して無事に魚類調査や部署別実習もすることができた。

もう一つは、船員という仕事をより深く知り、体験したことだ。部署別実習でブリッジを希望した私は8時間連続でワッチに入った。船員の方々でも経験が無いことだそう。海面や天候の変化に気づいた。今までは4時間だったので、気づく前に交代になっていた。そして、生徒一人だけだったので、いろいろ質問し、船員の仕事についてくる苦労や必要となる技能や知識、成功や失敗を聞くことができた。本当に有意義でとても濃い8時間だった。

これらの体験は、船員の方々や教官、いろいろ準備してくれた先生方がいてくれたことで出来たことだと思う。この感謝の気持ちを恩返すためと自分の将来の夢を実現するためにも海技士の勉強や特殊無線の勉強に力を入れていき、成長した姿を見せられるように努力していく。



部活動遠征報告

釣り部

創部以来初！釣り部大会参加！そして準優勝！

スポーツ日本新聞社主催の「第1回バリバスカップ U-18LT マアジ釣り大会」へ参加して来ました。そもそも中高生が対象の大会が無い、水産高校の釣り大会は参加条件が満たせない、大会に出てみたい・大会に参加させてあげたいと言う部員と顧問の思いを余所に、釣り部は創部以来1度も大会に参加出来ない状況でした。しかし、ここに来て事態は急転。スポ日さんとバリバスさん（釣り具メーカー）が「中高生の為の釣り大会を開催しよう」と各高校の意識調査を行い、とうとう令和元年7月23日（火）、無事に大会が開催されました。

当日の天気は悪く、曇り時々小雨。肌寒ささえ感じましたが、炎天下での活動を思えば決して悪いコンディションではありませんでした。そんな中、海国釣り部はA・Bの2チームに分かれ、それぞれ別々の船に乗船して東京湾でのアジ釣りが開始されました。開始直後、木更津沖から風の塔を攻めたBチームが良型のマアジとマサバを爆釣！マアジに到っては「尺アジ」と言われる30cmオーバーもちらほら。優勝や個人大物賞こそ逃しましたが、結果は堂々の2位でした。

念願だった大会への初参加は部員達への良い刺激となり、今後の活動に必ず繋がって行くと思います。この場をお借りして、大会を主催して下さいましたスポーツ日本新聞社、そして何より、日頃から釣り部の活動に御理解と御協力を賜っている保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。

顧問 磯貝先生



カッター部

7月20・21日に宮崎市でおこなわれた第21回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会に出場しました。台風5号の九州西方通過の影響で雨の中の開催となりました。

創部以来初めて3年だけで1チームを編成できる状態であり、

練習も十分、気合も十分という状態で、部員も顧問も優勝することに疑問を持っていませんでした。しかし土砂降りの雨の中で漕ぐことが無かったことやアクシデントも重なって準決勝で2位となってしまいました。タイム的に4位ということで敢闘賞をいただきました。多くの保護者の方に応援に来ていただきありがとうございました。



個別面談について

今回、大島の保護者向けの個別面談のお知らせを出しました。東京での個別面談は今週末です。水道橋で行ないませんが、28日は教職員研修センター8階、29日は工芸高校1階の会議室になります。

受験料納入・センター試験受験料納付について

進学の受験料の納入について、郵便局で納入ができないことがありました。昨年までは学校近くに七島信用金庫があり、問題なかったのですが、今年波浮港支店が閉鎖になってしまい、受験料納入の手続きはできません。余裕を持って振込等おこなってください。

センター試験希望者は、今回の帰省中に受験料の納付を行い、志願票の記入を行って10月2日（厳守）に担任まで提出して下さい。出願期限は10月10日（消印有効）になっており、取りまとめ作業等もありますので、提出期限は厳守でお願い致します。

インフルエンザ予防接種

昨年、インフルエンザで学級閉鎖になりそうな状態に陥りました。今年は受験も控え、その対策として予防接種を学校近くの施設で実施しようと計画しました。別紙にてお知らせしておりますので、よろしく願いいたします。また、個別に受けられる方は、受験の有無にかかわらず御対応お願いいたします。

台風災害

9月8日夜に襲来した台風15号により海側に面した窓ガラスに被害がありました。教室は雨水と海水のしぶきが入り込み、砂だらけになっておりました。体育館の屋根も覆いが一部飛ばされてしまいました。学校周辺でも家屋の倒壊や倒木等大きな被害が出ました。千葉県ほどではありませんが、丸1日は停電し、電気のありがたさを痛感しました。堺君がインタビューに応じた新聞記事を掲載します。

読売新聞オンライン

停電でポンプ動かず…伊豆大島の高校、養殖ニジマス全滅 2019/09/14 16:51

台風15号による停電で、伊豆大島（東京都大島町）の都立大島海洋国際高校（生徒数221人）では、ニジマスなど養殖していた魚が全て死滅した。校舎の窓ガラス約180枚が割れ、海図やパソコンなどは潮風にさらされた。16日に授業を再開する予定だが、完全復旧にはほど遠い状況だ

「愛着があったので、とても悲しい」島出身の3年生の男子生徒（17）は肩を落とした。

同校では、生徒らが大切に育てていた約50匹のニジマスが停電でポンプとクーラーが動かず、同じく養殖していたクエとともに全て死滅。近くの水産試験場で育てていたヒラメやキジハタも全滅した。台風の通過後、この男子生徒は連日、祖父宅の屋根の修理を手伝っている。島出身の同級生らもボランティアに汗をかいているといい、「高齢化が進む島では、若い力が必要。受験生だけど、しばらくは島のために頑張りたい」と前を向いた。

台風 15 号と私

[3A 担任 池田先生より]

「暑い・・・」。隣で寝ていた長男の声に目を覚まし停電に気付いた 9 月 9 日の未明でした。寝苦しさを我慢し、風の音も忘れかけたころ朝になりました。停電は続いていましたが、とりあえず学校に行けば何とかなるだろうといつもより早めに出勤してみると、家より凄惨な状況が待っていました。その後はただただ、目の前のことをこなすことだけで精一杯でした。

幸いにして停電は翌日未明には復旧し、断水もそれに従って解消しました。学校での復旧作業は今も続いているようですが、少なくとも家庭での生活はすぐに日常を取り戻しました。

思ったことは、日常の素晴らしさ。普段当たり前とと思っている物事のなんと有り難いことか痛感しました。また、災害時に対する備えの不十分さ。人並み以上に普段から色々考えて用意していたつもりでしたが、全く足りませんでした。

辛い体験でしたが、打ちのめされることなくこれを糧として、これからの日々をより真摯に生活していく所存であります。

たった 2 日の被災生活

[3B 担任 磯貝先生より]

確かに夜中の風は凄かった。0 時頃には台風の目に入って風雨も止んだ。停電もしたし断水もした。でも住宅には被害らしい被害は無く、毎年何度かある台風の通過と変わらないと高をくくっていました。

しかし、学校に着いてみると状況は一変。B 棟は見るも無残な姿となり、PC とニジマス、ヒラメは全滅でした。まさか自分が、たったの 2 日間とは言えアルファ化米に涙する日が来ようとは夢にも思って居ませんでした。

これは宜しくない。人間は慣れてしまう生き物ですが、災害大国日本において「被災してしまうかもしれない」と言う危機感まで「慣れ」で無くしてしまう事は致命的な事ではないだろうか？エアコンも扇風機も冷蔵庫も TV も電灯もネットも無い生活。たったの 2 日間で憔悴しました。何も備えていなかった愚かな自分を呪うと共に、普段当たり前に使っているライフラインの有り難さを知り、当たり前にしてきている人達に心から感謝しました。

災害は必ずやって来ます。高校を卒業すれば、自分で自分の命を守って行かなければならない生徒も居るでしょう。「慣れ」で準備を怠った私の様にならないで下さい。

今いること、あることへの感謝

[3A 担任 古川先生より]

この場をお借りし、まずはご報告させていただきます。令和元年 8 月 22 日（木）、7 時 48 分に待望の第二子が誕生いたしました。男の子で、名前は湊介（そうすけ）です。第一子の誕生に引き続き、今回も、妻の分娩に立ち会いました。分娩に立ち会った感想として一言申し上げます。母は偉大です。

さて、本校は先日の台風 15 号で甚大な被害を受けました。その結果、1 週間の休校を余儀なくされ、使用する教室を限定しながら授業を行ってきました。特に我々教員と一部の生徒は、学校とドミトリーを行き来しながら過ごしました。今まで、学校で授業を行えることが当然であると思っていた自分自身の甘さを痛感しました。

以上 2 つのことから、私がみなさんに再確認してほしいことがあります。それは、今“いる”こと、勉強する場所が“ある”こと、これらは当たり前なことではないということです。特に 3 年生のみなさんは、あと 6 か月ほどで高校卒業となります。皆さんが海国に“いて”、3 年生で“ある”ことも当たり前ではなく、多くの方々や物から恩恵を受けて今が“ある”のです。今後は、今まで以上に周囲に対する感謝の気持ちをもって学校生活・寄宿舎生活を送っていきましょう。頑張るぞ海国！

第三学年通信 No.5

2019.11.8

東京都立大島海洋国際高等学校

第三回考查時間割

	10月21日		10月23日		10月24日		10月25日	
	1限	2限	1限	2限	1限	2限	1限	2限
3A	現代文	生物 化学	自習	数学ⅠA 演習	英語理解	数学Ⅲ	自習	世界史B演習 政治経済 数ⅡB演習
3B	現代文	生物 物理 化学	資源増殖 船舶運用 ダイビング	数学ⅠA 演習	海洋環境	総合英語	自習	海洋生物 航海・計器④ 航海・計器②

第三回定期考查番付表

科目	区分	横綱	大関	関脇
現代文B	必修	前田弦己	宮野	岡
政治経済	選択	橋本沙羅	酒井	今井 中島
世界史B演習	選択	佐藤多美	中嶋	浜崎
数学ⅠA演習	選択	岡結菜	辻(乙)	山本
数学ⅡB演習	選択	岡結菜	辻(乙)	須藤
化学	選択	辻乙碧	瀧口	林(叶)
生物	選択	岡結菜 前田弦己 市之瀬瑞季	中條	堺
英語理解	必修	宮野晴輝	中田	岡
総合英語	必修	長濱ひらり	堺	市之瀬
海洋環境	選択	市之瀬瑞季	前田	堺
航海計器(4単位)	選択	森裕翔	柴田	石津
ダイビング	選択	長濱ひらり	下村	児玉 安田
航海計器(2単位)	選択	菊田幸希	安田	中山
資源増殖	選択	市之瀬瑞季	堺	小澤
海洋生物	選択	市之瀬瑞季	堺	小澤

素点平均	学年	岡結菜	宮野	市之瀬
------	----	-----	----	-----

駅伝大会

B組の有志諸君が出場すべくエントリーしましたが、直前に出場辞退となってしまいました。1, 2年生が3組出場しました。教員チームも1組出場し職場の部で1位となりました。

台風被害復旧状況



写真左は窓ガラスが割れ、ベニヤで業者が塞いだB組の状態。現在はガラス窓が全て入っています。机・椅子は廊下に出してあります。写真右はガラス窓が入り、天井が持ち上がって穴だらけであった板を取り外したA組の状態。



体育館の屋根が剥がれた状態。工事に関しては進んでいませんが、12月には復旧しそうです。一時は卒業式ができないのではないかとおもわれましたが、予定どおり工事が進めば大丈夫です。

文化活動発表会



学校祭が中止となり、練習してきた舞台発表をする機会が欲しいということで、9月24日に、発表会を行いました。3年生有志の歌、吹奏楽部、郷土芸能部です。



夏の帰省時に進路指導・キャリア教育部より次のようなことをお願いしました。 覚えていますか。 [進路指導部 猪原先生より]

【進路決定者】

すでに進路が決まった人がいます。進路決定後も変わらない態度で授業や行事に参加している人もいれば、残念ながら、そうでない人もいます。授業や行事に手抜きをしている人は、まだ進路が決まっていなくて不安を抱えている仲間に対して失礼な学校生活を送っていることを自覚し、後期からの学校生活を改めてください。

現在、約半分の人が推薦・AO入試等で進路決定しています。受験前の志望理由書作成、小論文練習や面接練習に多くの生徒が一生懸命取り組み、合格を勝ち取りました。素晴らしいことです。

しかし、進路決定後から今に至るまでの自分を振り返り、自信をもって「仲間に対して失礼な学校生活を送っていない」と言える人はどのくらいいますか。受験結果が出た途端、その時の熱意や仲間への思いやりを失くしてしまった人が多くいます。非常に残念です。

特に大学進学予定者へ。何のために大学へ行くのですか。専門分野の学問を修めるだけでなく、教養を身につけるために大学進学を選んだはずですが、授業中の「寝る」、「説明を聞かず私語をする」といった態度（仲間への配慮に欠ける態度）は大学進学予定者の姿とは言えません。高校で学んでいることは大学で学ぶことの基盤になっています。（中学の勉強をさぼった人、高校で苦勞したでしょう？それと同じです。）

「知的好奇心のない人が大学へ行くのは時間と金の無駄です。今すぐ大学合格を辞退し働きなさい。」と言いたいところですが、あなたたちの未来にはたくさんの可能性があります。私たちはその可能性に期待しています。大学合格＝ゴールではなく、スタートです。来年4月から大学生になる自分のために、今の自分ができることをしてください。

雑学：レッコについて

[3B担任 平塚より]

船で良く使う言葉です。錨を落したり、ロープを離したりするときに、「レッコアンカー」のように使います。学生時代は日本語なのだろうと思っていましたが、シンガポールで現地の人を使うのを聞いて英語なんだと分かりました。街中を一人で歩いていると、手をつないだ親子が正面に来ました。二人の間に入りそうになってしまいました。するとお父さんが娘に向かって「レッコ、レッコ！」と言っていたのです。しっかりつないでいた手を離せということでした。英語で書くと「Let's go.」です。

偉人から学ぶ

[3A担任 古川先生より]

みなさんは加納治五郎さんをご存知でしょうか。私の授業を真剣に取り組んでくれていた君たちであれば、きっとわかるはずです。講道館柔道の創始者、それが加納治五郎さんです。彼は、こんな言葉を残しています。「精力善用」。善を目的として、自身の精力（精神の力・身体の力）を最大限に活用するという意味です。

これまでに学び身に付けた知識、鍛えた体、育ててもらった心。世のため人のために使えるものが君たちには多く備わっているはずです。期待しています。

壁

[3A 担任 池田先生より]

先月 22 日に駅伝大会を 10 日前に控えた中で左足の第三中足骨に疲労骨折をきたした。2 度目にして既に宿痾（しゅくあ）となった観のある疲労骨折であるがとやかく言っていられなかった。四の五の言うまいと決めた。区間賞で襷を繋いだ。「肉を切らせて骨を断つ」の上に行く「骨を折らせて区間賞」も 2 度目であるがもはや得意技と言っていい。チームも総合優勝を勝ち取った。ただ、走った後は、もちろん泣くほど痛かった。疲労骨折したら安静にしましょう。走ることはお勧めしない。

私の所属する「伊豆大島レーシングチーム」は、子供の体力低下が問題とされる中であってなお、大島の駅伝大会で毎年中学生・高校生が大人に勝って優勝するのを見るにつけ、「子供に本気の背中で道を指し示す大人が必要」と痛感したある人物が設立したチームである。ただし、やはり「大人の本気」とは大したものでも今や中高生を圧倒しつつある。泣く子も黙る存在となりつつある。負けても悔しくないから放っておかれつつある。「おっさんに負けてたまるか！」と奮起してもらいたいものである。

翻って君たちである。人生には壁のような様々な困難がつきものであるが、何かと理由を付けて避けてはいないだろうか。壁はいつしか崩れるものである。「必要である限り今後も 50 年、100 年存在し続ける」と言われたベルリンの壁はそのわずか 10 か月後に崩壊した。準備と努力と気合とほんの少しの運とで壁を打ち壊し希望を叶えることを期待している。言い訳などしようと思えばいくらでもできるが、そんなものは捨ててしまいなさい、何の役にも立ちません。10 回やってもできなければ 100 回やりなさい。1000 回できなくても 1001 回目のできるかもしれない。武田鉄矢は 101 回プロポーズした。

追伸：最近 3 年生全体に落ち着きがありません。生活指導担当として憂慮しています。

瓜田に履を納れず・李下に冠を正さず

[3B 担任 磯貝先生より]

夏休み明けからここまで、特別指導案件が立て続けに 4 件も発生してしまいました。試験を控えている人は進路実現に向けて努力を続ける時期、進路を決めた人は高校卒業後を見据えて必要な事に尽力する時期、であるにも拘らずです。12 期生は確かに全体的に見れば特別指導が非常に少ない学年です。しかし、だからこそその雰囲気壊したくなく、特別指導については折に触れ進路等にも絡めて注意してきたつもりだったのですが、担任として力及ばず心境です。

過去の例を挙げれば、推薦を控えた生徒が既に進路を決めていた生徒と共に特別指導案件を発生させて推薦が受けられなくなる、指定校で進路を決めていた生徒が特別指導案件を発生させて合格が取消になる、と言ったケースも現実には起こっています。今回の 12 期生の特別指導でも、一步間違えれば同じ悲劇が起こっていました。誰かの進路や自身の進路を台無しにしたい人は居ないと思います。今ここで意識を変えて、特別指導等と言う不名誉を受けない様に自分を律して下さい。

そして可能ならば、誤解を受ける様な言動・行動も慎みましょう。表題の言葉は中国の「君子行」と言う古典詩の一節です。「瓜の畑で靴を履きなおそうと屈めば瓜泥棒と誤解されてしまう・スモモの木の下で冠を被りなおそうと手を挙げればスモモ泥棒と誤解されてしまう」と言う様な意味で、転じて「賢人ならば誤解されるような行動は避けるべき」と意識されます。12 期生の皆さん、社会に出て痛いしっぺ返しを喰らう前に賢い人になって下さい。

第三学年通信 No.6

2019.12.24

東京都立大島海洋国際高等学校

第四回考查時間割

	12月10日			12月11日			12月12日		12月13日	
	1限	2限	3限	1限	2限	3限	1限	2限	1限	2限
3A	英語理解	現代文 B 演習 海洋環境	世界史 B	現代文 B	音楽 II	数学 I 演習	生物化学	古典 B	世界史 B 演習 政治経済	数 II B 演習
3B	総合英語	海洋環境	航海計器②④	現代文 B	音楽 II	解題研究(マリンスポーツ系)	生物化学物理	政治経済	海洋生物 船舶運用法	数 I A 演習

第四回定期考查番付表

科目	区分	横綱	大関	関脇
現代文 B 演習	必修	岡結菜	杉浦	瀧口
政治経済	選択	橋本沙羅	田島 菊田	酒井
世界史 B	選択	原島翔大	瀧口	浜崎
数学 I A 演習	選択	岡結菜	辻(乙)	小澤
数学 II B 演習	選択	岡結菜	須藤	辻(乙)
化学	選択	辻乙碧	菊田	須藤
生物	選択	小澤涼雅 前田弦己	市之瀬 堺	中田
音楽	選択	市之瀬瑞季	林(叶)	酒井
英語理解	必修	中田航輝	岡	辻(乙) 宮野
総合英語	必修	林叶太	長濱	堺
海洋環境 (A)	選択	須藤駿一	原島	沖山
海洋環境 (B)	選択	市之瀬瑞季	前田	本澤
航海計器(4単位)	選択	岩隈愛莉	柴田	森
ダイビング	選択	菊田幸希	児玉	稲垣
航海計器(2単位)	選択	菊田幸希	安田	中山
船舶運用	選択	杉田洋人	柴田	馬籠
海洋生物	選択	市之瀬瑞季	前田	林(叶) 又坂

素点平均	学年	岡結菜	前田	辻(乙)
------	----	-----	----	------

進路が決定して授業をおろそかにしている人が目立ちます。成績も落ちています。上位を維持している人はこのまましっかり継続してください。いい加減にしていた人は最後までいっしょにやり組んで、感謝の意思を表してください。

東京都産業教育振興会作文コンクール

国語科の授業の一環で作文し、応募した中で B 組の松川さんが佳作に入賞しました。20日に表彰式がありました。全文を掲載します。

学校の先生

3年 B組 松川 まりも

私は、勉強を教えるのが先生なのではなく興味をもって物事と向き合うことを教えるのが先生なのだと思う。

学校で教えられる数学や理科や体育や美術は将来、何の役にも立たないことが大半だ。私は今でも思っている。就職難だと言われる現代でも、勉強をしなくても職に就くことができる。実際、私の妹は中学生の時に不登校で、そのまま進学することなく、うなぎ屋という意外なところに就職した。それなら、なぜ小学校や中学校は義務教育とされるのだろうか。勉強を教えるにしても、例えば算数の足し算や引き算があればいいのではないか、もっと難しい問題が解きたいのであれば進学をすればいいのではないかと思ってしまう。

簡潔に言うと、私は学校に行くのは勉強を教えてもらうのではなく、道を広げるためだと思う。道が広がるというのは、数学や理科や体育や美術が、将来的に問題解決の選択肢になるということではない。確かにそれが絶対になくということではないが、それは専門の職業に就いたからであったり、一部の教科の一部の単元が偶然当てはまっただけであったりということが大半だろう。だから私の言う道が広がるとは、得意・不得意が入り混じる義務教育は、問題を解決する力と、問題に挑戦する勇気を教わることができるということだ。将来解決するだろう問題は二次関数や心臓の仕組みなんか覚えていても解決できないだろう。ほとんどの大人は忘れてしまっている。だから、学校で教わるのは小さい問題から大きい問題に取り組み、それを解決できたという体験談あるいは成功例だ。特に小学校に入学した一年生は、初めて勉強にふれるという子も多いだろう。だから最初は簡単なものを習い、それが徐々に発展した内容に進んでいく。今、私たちは小学校一年生の問題なんてすぐに解けてしまうと思う。しかし、小学一年生の問題を解けたことを自慢することは少ないだろう。なぜなら、それらが積み重ねられて、次のステップが見えるようになっていき、戻るのは難しくなるからだ。逆に、挑戦できる勇気があれば次の壁を越えるのが楽しみになる。私はその楽しさを高校で知ることができた。苦手だった数学を一からわからないところをまとめ、先生に質問をし、徐々に解けるようになって、今では好きになった。良い経験ではあるが、少し遅かったと感じる。中学までの義務教育で、自分は何をしていたのだろうか。

学校で教えるものの大半は勉強だ。しかし将来使うことは少ない。ならば勉強を通して教わることがあるべきだ。しかも、勉強をするしないは先生によって絶対的に決められることではなく、自分で決めることだ。それならやはり先生は興味をもって挑むこと、積み重ねにより道が広がること、わからなかったことがわかるようになる楽しさを教えるべきだと私は考える。そして私自身、教員になって、子どもがそれを知るための手助けをしたい。苦手なことから逃げずに立ち向かうことは難しいが、それを乗り越えれば何事も良い経験になり得るということを伝えられるようになるのが私の夢だ。



台風復興ボランティア

9月の台風の後、学校周辺の復興に尽力してくれました。停電・断水などを体験しながら、被災した家屋の片づけ等に協力していました。受験がこれからという時期であったのですが、地域のために貢献してくれました。高齢化が進む学校周辺ですが、非常に心強いものでした。



4代目大島丸波浮港最終出港 23年間お疲れ様でした。



12月7日1時半に大島丸が波浮港を最終出港しました。全校で見送りました。生憎の雨模様となりましたが、感慨深いものになりました。生徒の感想を掲載します。

私は、大島丸の最終出港を見送って、すごく寂しい気持ちになりました。2度しか乗船していないけど、その2度の乗船は私の人生の中のとても貴重な経験になったと思います。私のように、大島丸で貴重な経験をした人が大勢いるはずですが、そんな船にもう会えないと思うと、すごく寂しいです。また、乗船の際には船員さん方に、とてもお世話になりました。先生や仲間のお蔭で乗り越えられたことは数えきれない程あったけど、やはり船員さんには陰でたくさん支えていただきました。学校や普段の生活で会った時も声を掛けてくださって、とても尊敬しています。そんな船員さんが、もう大島丸にのることがないということが何より寂しいです。でも、いつか別れは来るものだと思います、素敵な船員さんと貴重な経験をさせてくれた大島丸に感謝をして、大島丸の最後の出港を見送りました。寂しいけど、ありがとうという気持ちで。

冬休みの生活について

受験本番に向けて頑張る人は、体調管理にも気を付けてください。これからの期間はまだまだ成績が伸びる期間です。最後まで気を抜かず頑張ってください。

進学する人は、進学先でどうするか、しっかり考えてこの一年をどう過ごすのか、考え準備に入ってください。何とかなるは、もう通用しなくなりますよ。遥かに広がる進路に向けて目標を見定めてください。

個性と我が儘

[3A 担任 池田先生より]

人と同じことをしても、否応なしに滲み出るのが個性です。人と違うことをして際立つのはその人の我が儘や身勝手さだけです。肝に銘じてほしい。

さて、冬休みを越えて少しすると進学準備期間を経て間もなく卒業式です。この学年の生活指導担当として最後に、卒業式には在校生の模範となる身だしなみで出席してほしいと願っています。そうでない生徒の出席を認めるつもりはありません。ほんの少しの違和感でも欠席を強いる覚悟です。「そんなことで」という保護者からのクレームも覚悟の上です。冬休み、進学準備期間の後にしっかりと身だしなみで登校してください。またこの点に関して、保護者の皆様、ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

この12期に関わる全ての人々がよい新年を迎え、晴れ晴れと卒業式を迎えられるようお願いばかりです。

医学の使命は病気を予防する事にある

[3B 担任 磯貝先生より]

日本細菌学の父とも近代医学会の父とも呼ばれる「北里柴三郎」先生の言葉です。以前紹介した津田梅子さんと同じく新札の肖像画に抜擢された偉人で、名前から気付く人もいるでしょうが、北里大学の前身「北里研究所」の創設者にして、福沢諭吉亡き後に慶應義塾大学の医学部創設にも大きく貢献した人物です。感染症等に対する「血清治療」（蛇にかまれた時等に血清を打ちますが、その元となる治療法です）の開発や、かの悪名高い「ペスト菌」の発見等、医学界に多くの功績を残しています。

そんな北里柴三郎先生が信念としていた事が「医学の使命は病気の予防」です。病気の治療では無く、病気にならない様に予防する事こそが重要だと説いています。病気になってしまえば、人は苦しみそして死に至る事も有る。だからこそ「予防」が大切な訳です。そしてこの「予防が重要」と言う考え方、様々な事に置き換えられる気がします。

例えば事故、起こってしまえば如何し様も有りません。ルールを守ったり、その場の勢いで馬鹿な行動をしない等、予防が大切です。例えば犯罪、被害者・加害者になってしまえば如何し様も有りません。軽率な行動をしない、危ない場所には近づかない等、予防が大切です。例えば勉強、後々になって「やっておけば良かった」と後悔しても不合格は覆りません。辛くとも目標を見据えて頑張る、周りのアドバイスには真摯に耳を傾ける等、予防が大切です。各自が様々な事に予め備えれば、君達の人生はより良いものになるでしょう。「予防」を大切に！！

「11」

[3A 担任 古川先生より]

先日、サッカー日本代表の南野拓実選手が、クラブワールドカップで優勝し、世界一に輝いたリヴァプールというチームに移籍をしました。近年、世界の強豪チームへ移籍する選手が多くなってきた日本サッカー界が、さらなる賑わいをみせています。

冒頭の「11」という数字でピン！！と来た人もいたと思いますが、決して11人で戦うサッカーを連想させたいわけではありません。そう、11という数字は、君たちが大島海洋国際高校に通う登校日数の残数です。

今日から私は、卒業式までに君たちに伝えたいことを思慮し、悔いを残さぬよう伝えていきます。とりわけ今君たちに伝えたいことは、これまでの高校生活で、少しでもお世話になった方がいるのであれば、(いないはずはないと思うので) その方々に感謝を伝えつつ、高校生活を最後まで全うしてほしいということです。しかし、既に諸々の理由をつけて学校を長期で欠席しており、年明けも帰舎しない生徒が多数いることが残念でなりません。

保護者の皆様、12期生の高校生活も残りわずかとなりましたが、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。それでは、よいお年をお迎えください。

3年海洋系船舶類型 東京湾みはら航海実習

12月17～19日、実習船みはらによる船舶類型の航海実習が行われました。1日目は波浮港を出港して、東京海洋大学まで、2日目は品川から横浜往復、3日目は品川から波浮港まで航海しました。初日は千葉の手前で前線の通過があり非常に揺れましたが、当初の予定どおりに実習できました。柴田君の感想です。



3年B組 柴田 広大

私は、航海系を選択してさらに船に関する知識や技術を身に付けることが出来ました。

二年次から小型船舶の授業でチャートなどをやることはあっても、実際に自分が船を動かす事を想定して書くことはありませんでした。三年の航海系を選択して、課題研究の授業で初めてやったのは野増港往復のコースを実際に航行するつもりで書く授業です。航行するつもりで書く作業です。航行することを意識してコースを書くのは初めてで、どこを正横に見て変針するか、陸からの距離などを何度も書き直しました。実際にみはらに乗って野増港に行く際は自分が今どこを走っているのか海図やレーダーを見て判断することの難しさを学びました。

岡田港経由で大島一周をするコースを書いたときは、野増航海で経験したことを活かして、野増航海のコースを書いたときよりも、スムーズに書くことが出来ました。ですが、天候などの影響で、大島一周の航海は、行うことが出来ませんでした。

東京湾往復航海では班で協力して東京海洋大ポンドまでの往復航路のコースと下調べをしました。実際に航海をして思ったのが、下調べが不十分で、先生に注意されて気付くことが多かったことです。他にも、正横で変針する予定の場所から何マイル離れているかで、自船の位置を求められることなど様々な知識を付けることが出来ました。特に大きな問題もなく無事に終わることが出来て良かったです。

欲を言えば、授業でもっと船を出して、実習をしたかったです。

第 58 回全国高等学校生徒英作文コンテストで林叶太君が入選

A Japanese Tradition I Want To Share The Affection of “Washoku”

Do you know what happened in 2013?

It's the year that Washoku, traditional dietary cultures of Japan, was recognized by UNESCO as an intangible cultural heritage. Washoku includes local cuisine and Kaiseki ryori, a traditional Japanese multi-course meal. Of course Sushi and Tempura is also included.

Recently, Washoku has been taking notice around the world, but what's the reason why people are attracted that? Today, I'm going to tell you it with Washoku's peculiar attention.

First, the main reason is it's good for our health. Foods from around the world mainly use edible oil and fat, but Japanese foods almost use “Dashi stock” and “UMAMI”, one of the primary taste that Japanese foods need (The person who discovered “UMAMI” first is Kikunae Ikeda, an expert of Tokyo Imperial University. He focused on the composition of Konbudashi, kelp stock, which using for a long time. In 1908, he succeeded in extracting glutamic acid from kelp and named “UMAMI”).

Furthermore, the cooking methods of Washoku don't use oil, for example, boiling, steaming, burning and raw. So we can take a meal less edible oil and fat and calorie.

Also, there're “Dashi stock” in Japan. In 675, the prohibition of meat-eating was promulgated and people couldn't have eaten meat for 1200 years. Because of it, people had tried to continue eating habits which lead to long-term survival and healthy by extracting animal protein from seafood and ensuring vegetable protein from soybeans and rice.

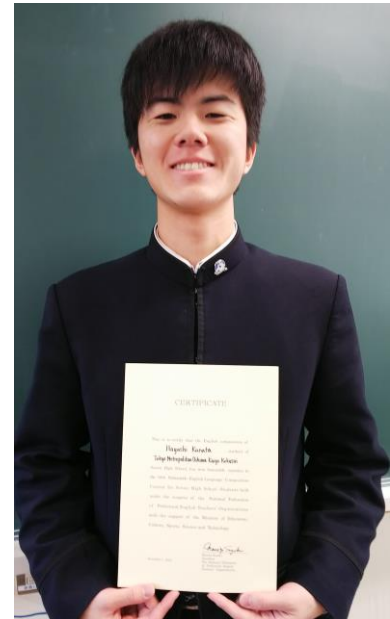
And the menu of Washoku is based on “a bowl of soup and three kinds of simple dishes”. It includes rice, soup, main dish, side dish and pickles. If we conscious of this things, we can take in various ways to do that more. One of the way, we use seasons effectively. People have been enjoying seasonal ingredients by using for meals in Japan. Especially, Kaiseki ryori, originated from the tea ceremony, is particular about seasonal ingredients because SEN no Rikyu, established this meal, cherished “Ichigoichie” (This means “once-in-a-lifetime chance”).

Second, Washoku is in close contact with events. There is a word “Hare and Ke” in Japan. “Hare” means “the unusual”, and “Ke” means “the usual”. On such special days like “Hare”, we eat many kinds of special meals. For example, in New Year, we eat Osechi, New Year's food, for something to celebrate, we often cook red rice and we eat Toshikoshi-soba at the end of the year.

However, flavoring and toppings vary from region to region even same food. For example, “Shojin ryori” (vegetable dishes), basic dishes monks eat under an ascetic, has sectarian differences. Thus Washoku culture contributes for preservation and development of culture has an unique things. That's the words “Itadakimasu” and “Gochisousamadeshita”. Even though English has similar words, they're not same meanings. We have traditional Japanese tradition which is thanks for cooks, agricultural producers and ingredients in our food culture and we should be proud of that.

Lately, however, the dietary life has been westernizing and simplifying in Japan and the basis of meal is forgotten.

Washoku is widen around the world, but that has been wasting away in Japan. We should think how to preserve our food culture and take it in over to next generation.



センター試験受験について

[3B 担任 磯貝先生より]

来る1月18日(土)・19日(日)、センター試験が実施され、12期生からも8名が受験します。勉強はもとより、体調管理や受験会場の下見など準備は万端でしょうか。今までの学習の成果を十分に発揮できる様に、万全の準備を整えましょう。さて、この度は上述したセンター試験に関する連絡です。受験する8名に関しては既に説明会で周知済みですが、確認の意味も込めて改めて連絡します。

まずは自己採点会についてです。1月20日(月)08:30～教職員研修センターで自己採点を行います。自己採点結果は業者に送付し、全国のデータと照合することで後日の出願指導に活用します。制服着用の上、筆記用具と解答を転記した問題用紙、模範解答を持参してセンター受験者は必ず参加してください。

次に出願指導についてです。1月24日(金)08:30～教職員研修センターで出願指導を行います。全国のセンター試験データを元に、合格判定などを見つつ出願する大学を選定していきます。基本的にセンター受験者は全員参加ですが、「記念受検なので各大学の2次試験は受けない」という生徒は不参加でもかまいません(自己採点日に確認を取ります)。

参加者は制服着用で、各自必要な書類を持参のうえ集合してください。

注意事項など

- ① 模範解答は各試験日の20:00～21:00位の時間帯に、センター試験HPや各新聞社のHPで当日の試験教科の模範解答を公開しています。19日・20日の各種新聞でも模範解答が掲載されます。各人でDLするか新聞の購入をお願いします。
- ② 問題用紙への解答の転記を忘れずに行いましょう。自己採点するには問題用紙への転記が絶対に必要です。
- ③ 出願指導は一人ずつPCを使って指導を行います。待ち時間が多いかと思しますので、勉強道具などを持参しましょう。
- ④ 体調管理にはいつも以上に気を使いましょう。食事や睡眠時間、うがい・手洗い等、実力以外の要因で結果が左右されないように注意してください。

最後に・・・

センター試験は一般受検において最初の関門です。まずはこれお潜り抜けるために、最善の努力をして下さい。人間ですから「甘えたい」「楽したい」という弱い気持ちがあることは仕方ありませんが、今はそれを押し殺すときです。自身の希望を実現させるための試練です。良い結果が出ることを祈っています。

右のお守りは進路指導キャリア教育部主任の猪原先生がくださり教室におまつりしていたものです。



郷土芸能部遠征報告

11月24日に練馬文化センターにおいて東京都高等学校文化祭郷土芸能部門第28回中央大会発表会に出場し、銀賞を受賞しました。3年生は4人揃って参加しました。岩隈さんが審査員のアジョ氏より、審査員特別賞をいただきました。岩隈さんの感想を掲載します。



今年度の中央大会で審査員特別賞をいただき大変嬉しく思います。自分が賞を取れたのは、3年間の努力と1・2年生のときに指導してくださった当時の先輩方や共に頑張ってきた同級生や後輩、練習できる環境を用意してくださった先生方、学校までわざわざ出向き指導してくださった菊池清先生の御蔭だと思います。本当にありがとうございました。3年間お世話になりました。

道義

[3A 担任 池田先生より]

普段から再三再四、前回の学年通信でも注意したにもかかわらず、一月の帰省明けに身だしなみにおいて看過できない者が複数名いました。残念です。卒業式ではこうしたことがないように今一度注意して、諸君の留意を促す。

別にどんな髪型も悪ではないとは思っている。ただし、様々な価値観がある中で特に年長者の印象を損ないかねないものが往々にして若者の間で流行するものである。何の悪気も、意図すらない中で、知らず他者の印象を損なうことは実際に起こりうることであり、それはとても残念で、あんまりといえぱあんまりである。だから、様々な場面で年長者との面接や面談を行う機会の多い高校生にはそのような髪形を認めていないのである。

また、集団生活の中で共通理解や共通認識を共有したならば、それらは墨守されるものであり、善悪とはまた別の問題になる。つまり、いったん皆で「こうしましょう」とされたものを遵守するのが社会性や公共心であり、また人としてなすべきこと、すなわち道義である。

他者貢献

[3A 担任 古川先生より]

個人心理学の提唱者であるアルフレッド・アドラーは、人生において大切なことの1つとして、「他者貢献」を挙げています。他者の役に立てていると実感したとき、己の価値に気づき、自己受容につながるからです。さらに、人はそこに存在しているだけで誰かの役に立っているとさえ述べています。さらに詳しく知りたい人は、ぜひ調べてみましょう。

君たち生徒は、我々教員にとってなくてはならない存在です。日々の教材研究を实践させてもらえる貴重な存在です。多面的に生活指導させてもらえる貴重な存在です。君たちは教員に貢献してくれています。

そんな私は、3年生の担任を担うときは、卒業間際に奉仕活動の有志を募り、一緒に何かをします。今回は「大島清掃隊」として通学路のごみ拾いをしました。誰かがしてくれている作業を、自らが率先して行う。これも他者貢献です。



第三学年通信 No.8

2020.3.8

東京都立大島海洋国際高等学校

卒業おめでとう！

いろいろな行事ができなくなった一年でしたが、規模縮小ながらも学校で卒業式を迎えられたことをうれしく思います。80名定員の学校で、80名が卒業することは、本校では過去例がないと思います。他の学校でも非常に稀なことだと思います。一人ひとりがそれぞれ頑張ってくれた結果だと思います。入学式翌日に、ドミトリに帰れないと泣いていた女の子がいました。もう駄目だと思っていたが同室の仲間が励まし合ってくれました。昨日のように思い出されます。あつという間の3年間でしたが、皆それぞれに成長したと感じます。本来なら、3年の学校祭でもっと団結が高まったり、台風被害がもう少し小さければ入試対策にもっとしっかり取り組めたのにと申し訳ない気持ちであります。

ぜひこの仲間を今後も大切にしていってください。すぐにどうこうということはないかもしれませんが、10年、20年後に困った人がいたら、互いに手を差し伸べられる仲間であって欲しいと思っています。

学習発表会



1月17日、三年生を送る会の午後、学習発表会を行いました。課題研究の成果から、石田・小澤・又坂君チームがカサゴのストレスについてと前田君が新島の漁業について発表し、下級生向けに説明しました。

第7回全国海洋教育サミット 審査員特別賞

2月15日に行なわれた第7回全国海洋教育サミットに前田弦己君がポスターセッションに出場し、審査員特別書を受賞しました。

成績番付表

項目	区分	横綱	大関	関脇
第三学年成績優良	学年	堺颯太	前田 辻(乙)	岡 市之瀬 小澤 長濱 林(叶)
評定平均	3箇年	前田弦己	岡	辻(乙) 長濱 林(叶)

最後のLHRに3年間の感想を書いてもらいました

蛇行しまくりの3年間

菊田幸希

私は昨年 of 年末に、公務員への就職が決まりました。そこに至るまでの道のりはとても長く、苦しく、そして有意義なものでした。

私が、小中学生の時は、「海国に進学する！」という、明確な目標があり、「迷う」ことなんてありませんでした。しかし、海国に進学してから進路決定までに私は4度進路変更しました。海洋系の4年制私立大学や、海洋系の国立大学、専門学校など様々。やっと目標が定まったのは、2年の終り頃です。その頃までは、大学の進学を考えていたので、センター試験へ向けての勉強に取り組んでいたり、高い成績が必要なので学校の勉強も頑張ったりしていました。

2年生の終り頃、私はふと「父と同じ警察官になりたい」と思うようになりました。確かに私の中では、小さい頃からの夢の一つに警察官になりたいというものはありました。なぜその時に「警察官になりたい。」要するに「公務員になりたい」と思ったのかは私自身もわかりませんが、私の中で強い決意が生まれたのはよく覚えています。進学から就職へ大きく変化し、その分又はそれ以上に苦しくキツく、大変でした。ただでさえ、公務員試験の教養問題の範囲が広いというのに、周りの人達から遅れてのスタートでした。試験勉強をしていく中で私はあることに気づきました。それは、これまでやってきた、センター試験に向けての勉強や学校の授業で学んだことなどが、教養問題として出ていることです。このことに気づいた時、私は「今までやってきたことは無駄ではなかったんだ」と実感することができました。

この3年間、蛇行しまくり、苦しみ、何度も折れそうな時がありましたが、それがあったから今があるのだと私は思います。これから先、私は社会人として生きていく中で、もっと蛇行したり浮き沈みする時があると思いますが、必ずこの先の何かに繋がると信じてめげずに、力強く生活していきたいといます。

最後に、私は警察官にはなりませんでしたが、父と似たような仕事であり、大好きな海の安全を守る仕事なので、父のためにも、そして私自身のためにも精一杯働いていきたいと考えています。

菊田さんの職種は東京湾岸署の中にある海上のパトカーのような船の操縦士です。その部署の3割は本校の卒業生です。大島丸で東京に入港するとサイレンを鳴らして近づいてきて卒業生が手を振ってくれます。拳銃こそ持たないものの、警察官と同じように働くと聞いています。くれぐれも東京港内で違法なことをして菊田さんに捕まることのないようにしてください。



卒業にあたっての各種表彰者について

東京都体育協会表彰 体育優良生徒	須藤駿一	長濱ひらり
東京都高等学校文化連盟表彰 文化活動優良生徒	沖山一哉	岩隈愛莉
財団法人産業教育振興中央会賞	前田弦己	
東京都産業教育振興会賞	林叶太	
全国水産高等学校長協会賞	堺颯太	
東京都青少年赤十字メンバー卒業表彰 功労表彰	田島雅人	酒井海月
	善行表彰	山本玲真
東京都高等学校野球連盟 硬式野球選手表彰者	原島翔大	
高校生新聞社賞	酒井海月 杉浦大地 瀧口信一郎 中田航輝 堺颯太 下村和美	長濱ひらり
皆勤賞	高橋瑞樹 瀧口信一郎 田島雅人 堀徹人	
精勤賞	中島健太 中田航輝 永田遥大 浜崎恭輔 原島翔大 藤田開	
	小澤涼雅 菊田幸希 堺颯太 柴田広大 鈴木春喬 長濱ひらり	
	中山颯 前田弦己 馬籠大斗 又坂翔太 宮下葵 湯舟平	

桃李成蹊

[3B 担任 磯貝先生より]

12 期生の皆さん、卒業おめでとう御座います！3 年間本当によく頑張ったと思います。乗船実習や寮生活等、他の学校では出来ない経験を積んだ君たちですが、同時に他の高校生がしないであろう苦勞を立派に乗り越えました。個々人の課題は有るでしょうが、まずは 3 年間を乗り越えた事、是非とも誇って下さい。多くの苦勞を乗り越えた経験は、必ず君達の人生を後押ししてくれるでしょう。

とは言え、何でもかんでもその経験が解決してくれる訳ではありません。特に注意してもらいたい事は「信頼」とか「信用」、目には見えないし実感もしづらいけど、生きて行く上でとても大切なものについてです。信頼や信用は社会人としてだけでなく、人間関係全般において重要なものです。仕事・友人・恋愛、場合によっては家族であっても、信頼と信用がなければ壊れてしまいます。

信頼信用を失うのは非常に簡単です。ルールやマナーを無視する、隠ぺい工作をする、身勝手な行動言動を取る、自己主張ばかりする、自身の非を認めない、下らない言い訳をする、他者を貶める、約束を破る、嘘を付く、サボる、ミスや違反を繰り返す、責任転嫁する、嫌がらせをする、裏切る等々、失う切掛けはいくらでもあります。意図せずやってしまい、失ってから気付く事もあるでしょう。

桃李もの言わざれども、下自ら蹊を成す。「桃や李の木は言葉を発することは出来ないけれど、美しく咲き誇る事で自然と人が集まり道ができる」、転じて「人徳を備えた人は、余計な事をしない」と言う意味で、中国歴代王朝での出来事をまとめた歴史書「史記」（これの一部を原作としたのが「キングダム」）に記された言葉です。当時無名の役人、司馬遷（しばせん）が生涯を賭した書物で、彼は汚名を着せられ去勢されてもなお、執筆し続けたそうです。そして現在、史記は中国最高傑作の歴史書とまで言われています。周囲を顧みない言葉や行動で自身を貶めるのではなく、12 期生の皆にはやるべき事に専念し信頼と信用を得て、自然と周りに人が集まり道ができるモモやスモモの木のような人物に成長して欲しいと思います。

卒業を迎える君たちへ

[3A 担任 池田先生より]

誰かが言っていた。「10代は本を読み、20代は旅をしろ」と。読書を通して得た知識や情報が、実際に確認することによってより深い学びや気付きに変わるのでという。私も実際に高校から大学にかけて読みまくった。大学生になってからは、国内は北海道から沖縄まで、国外は熱帯からツンドラ気候帯まで20ヵ国以上を巡った。どこにも胸躍る発見が待っていた。何度も写真で見たものや、眼前に浮かび上がらせられると思うほど活字を追ったものが、実際にはまた違った印象を備えていた。良くも悪くも、常に私の想像は裏切られ、その度に私の想像力はさらに逞しくなり豊かになった。おかげで今の私に想像できないことはない。「四十にして迷わず」の境地である。

これから10代から20代への過渡期を迎える君たちである。大いに読みたまえ。活字の苦手な人は漫画でもいい。男だって少女漫画を読むのに躊躇するな。とにかく多くの情報を求めたまえ。そして旅に出よう。旅に出て情報の確認をしよう。約束する。それは驚きと喜びに満ち満ちた作業となるであろうことを。君たちの人生をさらに豊かにしてくれることを。例えば、「百塔の都」※₁の塔が描く輪郭はどのようなものか。「蝉の羽より透明な」生地※₂はどのような質感なのか。「金彩に似て、更に虹色の輝きを持つ」陶器※₃はどのように輝いているのか。君たちが豊かな想像力を磨き更に未来へと羽ばたくことを願う。

※1：チェコ共和国の首都プラハの異称。ゴシック様式の尖塔群が空を衝く。

※2：インド更紗の繊細華麗さをこのように形容した。

※3：ペルシアの伝統工芸ラスター彩陶。中世にその製法が失われたが、ある日本人が復活させた。

晴れ男

[3A 担任 古川先生より]

12期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

さて、みなさんと出会って3年が経ちました。担任として関わらせてもらったのはたったの1年です。教員生活の1年が、これほどまでに早く、また、物足りないと感じたのは、教員9年目にして初めてです。

この刹那的な1年を振り返ってみると、4月新歓スポーツ大会、雨上がり。7月遠足、雨かつ船揺れる。7月WBG、曇り時々少雨。9月文化祭、台風被害甚大のため中止。12月生徒会レク、雨。そして卒業式…。なぜこれほどまで不運が続くのか、私は考えました。おそらく昨年度まではこんなこと無かったはず。昨年度と何が違うのか。それは、、、古川が担任に入ったこと。

私は今、自分自身に疑問を抱き始めています。これまで晴れ男と自負していた己を恥じてしまいそうです。そんな私が立ち直るために一縷の望みがあるとするれば、それは君たちが多くの不運にも立ち向かい、乗り越えてきてくれたことです。現実を受け入れ、前向きな姿勢を続けてきてくれたことです。本当にありがとう。

お互い、新たなスタートを切る時です。いつかみなさんと再会したときに、自己への不信を脱却させ、人として、また教育者として大きくなったところを見せられるよう、私は前進していきます。みなさんも、自分が選んだ道で大きく、逞しく羽ばたいてください。みなさんの未来に幸多からんことを！！

P.S 今回は自分の話ばかりで申し訳ありません。いつか一緒に美味しいお酒(ジュース可)を飲みながらみなさんの話を聞かせてください！！



卒業式を終えて

3月8日本校体育館において、卒業式を挙行了しました。コロナウイルスが流行し、学校は休校中で開催が危ぶまれたものでした。小規模で行うように、在校生の出席は最小限、保護者・来賓は出席しない、予行もしない等々、いろいろな制限が出されて行くことになりました。するからには大島で開催したい。9月7日以降入れなかった教室に最後は戻したいとの思いで東京開催は私の選択肢にはありませんでした。そして上記のいつものながらの写真撮りたいと思いました。写真だけでも何事もなかったようにしたかった。

開催にあつたって、夜船での移動は多くの教員が反対しました。しかし、片付け、食事の用意、荒天で高速船が欠航になるリスク等を考えて、夜船になりました。諸君の中でコロナウイルスが蔓延しないのを祈るのみです。慣れない船中の上、乗ってなければわからない変な横振動により、休めなかったであろうことが容易に想像できました。

最後のLHRもいつもの帰省のごとく配布物だけで終わってしまいました。それでも記念写真が撮れたのが良かったです。帰りの船の中で互いに卒業アルバムにメッセージを書いていた姿は、大型船ならではのものです、救われた気がしました。出迎え式も初めて直接見ましたが、大勢の方たちが温かく迎えてくださって印象深いものでした。来年時間があれば、君たちが迎えてください。

卒業アルバムの表紙

辻隆翔君の力作です。最初は渋っていて、書いてくれる人を探すのに困っていました。大島と椿と海の王者のコラボです。ありがとうございました。



PTA12 期学年長 清水村さんの出迎え式での式辞

みなさん、ご卒業おめでとうございます

雨の入学式から始まり、最後まで雨でしたが、今日、岡田港では、残念ながら在校生はいませんでした。島をあげて見送りをしてくださいました。みなさんの顔はとても晴れやかで、3年間やりきった、頑張った自信にみなぎり、これからの歩みへのエネルギーをひしひしと感ずることができました。

在京の保護者としては、中学卒業後に、自宅から離れる子どもに、不安しかありませんでした。1年生の前半はとくに、慣れない生活からくる不安を聞く日々に、心が痛くなりました。それでも、帰省で顔を見るたびに、成長していく姿をみて、不安はだんだんと、応援する気持ちにかわり、そしてやりきった皆さんを前に、今は、みなさんがやり遂げてきた高校3年間に尊敬の気持ちでいっぱいです。

そしてこれから大きくはばたくみなさんは、大島海洋国際高校で過ごしてきたチームワーク、信頼、友情、努力が全てを後押しします。自信をもって、さらに輝いてください。

そして、子どもたちをずっと見守ってくれた先生方、在島保護者はじめ、大島のみなさんに、深く深く感謝しても感謝したりない、たくさんのお愛をいただきました。ありがとうございました。

答辞

暖かい日差しが私達を照らし、オオシマザクラの蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる今日この日。このよき日に卒業式を挙げて頂くことを心から感謝しています。本日、私達12期生80名は大島海洋国際高校を卒業します。今思い返してみれば、仲間達と過ごした3年という時間はあっという間でしたが、本当に多くのことがありました。これからの高校生活への大きな期待と、それと同じくらいの不安を胸に迎えた入学式。先輩や後輩たちと競い合ったスポーツ大会やWBG。全校生徒全員で協力し盛り上げつくり上げた海国祭。どんな困難にも仲間と協力して乗り越えた大島丸での乗船実習。時間を忘れ楽しんで遠足や学年レク。夜遅くまで学校に残り、眠気や空腹と戦いながら取り組んだテスト勉強。友達と馬鹿みたいなことをして笑いあったこと、意見が合わず喧嘩したこと、楽しかったこと、苦しかったこと、海国で過ごした3年間は決して忘れることのない、大切な思い出です。

その中でも一番思い出に残っているのは陸上部での活動です。ケガをして走れなかったり、目標まであと一步が届かなかったりして、人や物に当たることもあれば、悔しくて泣いていたこともありました。一方で自己ベストを更新したり、大島町の駅伝大会で優勝したりした時には、それまでの苦勞が報われたこと、応援して下さった人達に恩返しのできたことがとても嬉しかったです。なにより、走り終わった後に、観客の方から「見ていて面白かった。」「勇気が出た。」と言っていた時は、今まで走ってきて良かったと思いました。私は陸上部での3年間で、自分で考え、行動することの大切さ、私達のことを陰で多くの方が支えてくださっていることを実感しました。陸上部に入部する前に、顧問の池田先生から「後悔しない?」と言われたことがあります。また部員が私一人になった時には周りからは「陸上部を辞めて、他の部活に入ったらどうか。」や「こっちの部に入らないか。」と誘われたことが何度もありました。しかし、私は陸上を続けてきたことに悔いはありません。むしろ、明るく優しく、いつも私を笑顔にさせてくれた先輩、後輩、先生方と3年間を過ごせて幸せだったと心から思っています。

このような日々を過ごすことができたのは、周りの人の支えがあったからです。いつも私達を陰で見守り、私達が間違った方向に進むことがあれば心を鬼にして叱ってくださり、

授業や進路のことで分からないことがあれば親身になって分かるまで教えてくださった先生方。遠征費や食事代などを工面してくださり、私達のことを最後まで応援し続けてくださった保護者の方々。いつも私たちのことを見守ってくださった地域の方々。たくさんの方々に支えられたおかげで私達はここまで成長することができました。本当にありがとうございました。これから私達はそれぞれの道へと一步一步自分の足で歩いていきます。今後、大きな壁にぶつかることもあると思います。そんな時は、この海国で得た多くの思い出、学び、誇りを糧とし、乗り越えていきたいと思います。在校生の皆さん、皆さんと過ごした日々も私達にとってかけがえのない思い出です。本当にありがとうございました。1年後に卒業していく2年生の皆さん、卒業なんてまだ先のことだと考えている1年生の皆さん。3年という時間はあっという間です。私はそれを実感しています。私は一日一日を大切にしようと考えていたにも関わらず、多くの時間を無駄にってしまったと後悔しています。だから皆さんには勉強や部活動はもちろん、今周りにいる仲間たちとの時間も大切に、悔いのない学校生活を送ってほしいと思います。そして、12期生の皆さん、私は保育園から中学校までずっと同じ仲間たちと過ごしてきたため、島の外の人と3年間を過ごすことに期待と不安を抱いていました。高校へ入ってからはゴミをゴミ箱へ捨てない人がいたり、普通しないだろうと思うような問題を起こしたりと驚きの連続でした。本当に皆とうまくやっていけるのだろうかかと不安になりました。しかし、一つ、また一つと行事が進んでいくにつれて、皆のことを少しずつ知ることができ、今となっては一人一人が個性のあるかけがえのない仲間達です。テストの点数で順位を競い合ったこと。スポーツ大会で圧勝したこと。時には先生に怒られて罰掃除をさせられたこと。沢山のことが私の大切な思い出です。皆さんと3年間を過ごせて本当に良かったです。80人で見てきた景色を大切にしてください。3年間本当にありがとうございました。

最後になりましたが、保護者の方々、先生並びに職員の方々、地域の皆様3年間本当にお世話になりました。私達のこれからの活躍を期待し、温かく見守っててください。海国の益々の発展を心より祈念して、答辞とさせていただきます。

令和2年3月8日 大島海洋国際高校 12期卒業生代表 中田航輝

進路先一覧

国公立大学	岩手大学 三重大学 東京海洋大学 都留文科大学 名桜大学 水産大学校
私立大学	神田外語大学 関東学院大学 国士舘大学 駒沢女子大学 秀明大学 駿河台大学 成蹊大学 帝京平成大学 東海大学 東京国際大学 東京農業大学 東京未来大学 東邦大学 長崎総合科学大学 日本経済大学 日本大学 明海大学 明治大学
短期大学	淑徳短期大学 宮古海上技術短期大学校 清水海上技術短期大学校 波方海上技術短期大学校
専門学校	ミス・パリ・ビューティー専門学校 慈恵第三看護専門学校 HAL 東京 東京誠心料理専門学校 ソウル大学校韓国語教育センター 東京都立青梅看護専門学校 読売理工医療福祉専門学校 岩国 YMCA 国際医療福祉専門学校 ベルエポック美容専門学校 東京コミュニケーションアート専門学校 横浜実践看護専門学校 東京映画・俳優&放送芸術専門学校 ESP エンタテインメント東京 日本大学附属看護専門学校 ルネサンスペットアカデミー
就職 未定	自衛隊一般曹候補生 東京消防庁 水産庁 海上保安学校 警視庁 浪人等

1 2期卒業対策委員長 杉浦隆彦様より寄稿していただきました

1 2期生と保護者の皆様に、一つでも多く素敵な思い出が増えることを願い、活動させていただきました。計画した通りにいかないことがたくさんありましたが、出迎え式で誇らしげに校歌を歌い晴れやかな笑顔で別れを惜しみ合う姿を見ることができ、少し安心しました。卒業対策委員会の活動にご理解ご協力いただきました皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

立つ鳥後を・・・。

[磯貝先生より]

重ねてではありますが、12期生の皆、卒業おめでとう！君達は既に次の進路に向けて準備万端整えている頃だと思います(希望的観測)。コロナウィルスの感染拡大で最低限度の卒業式となってしまいましたが、それでも担任としては感慨深いものがありました。

所で皆さんは「初頭効果」と「近親効果」という言葉を知っているでしょうか？対になる心理効果なのですが、初頭効果と言うのは「第一印象が最も心に残り易い」と言う心理効果です。反対に近親効果とは「最後に与えられた情報が最も心に残り易い」と言う心理効果です。まあ、言ってしまうと「物事は最初と最後が印象に残り易い」と言う事です。

12期生の初頭効果は、「真面目で優秀な子が多い」でした。特別指導も非常に少なく、定期考査の結果はなかなかのもの、第1志望の進路を実現した子も多かった。乗船実習も頑張っていたし、部活動に精を出す姿も印象に残っています。何よりも、入学者がほぼ全員そろって卒業できた事、これが12期生の真面目さや優秀さの証明ではないでしょうか。

では近親効果はどうだろう？私が12期生に最後の最後に抱いた印象は「だらしない」でした。出迎え式の翌日、教室に行ってみると「食べ残しの赤弁が放置されている」「ゴミ箱が溢れ返り、プリンのカラメルでベタベタ」「椅子や机はぐちゃぐちゃ」「私物の放置」と惨憺たる状況でした。片付けている時に、何とも言えない気持ちになりました。

立つ鳥後を濁さず！良く言われる事ですが、最後だからこそ今まで以上に気を使った行動が求められます。初頭効果は意識・無意識関わらず気にして行動する人が多いと思います。しかし、近親効果は疎かにする人が多いのではないのでしょうか。残る人達の迷惑にならないように、自身の人間性を貶めないために、近親効果を是非とも意識して下さい。

副担任 高橋先生より

12期生のみなさんご卒業おめでとうございます。就職や進学に向けて頑張るみなさんの姿が目には焼きついています。これからはますます自分の行動次第で人生が変化していくと思います。自分の行動でその進路に進むことを決めたみなさんなら、今後もきちんと自分の行動に責任を持って人生を豊かにしていけることでしょう。みなさんの活躍を期待しています。

先生方の異動について

お世話になった先生方で3月31日で異動される先生方

数学科 廣谷先生・理科 新井先生・国語科 高橋先生は都内の高校へ転出されます
大島丸の船員さんはそれぞれの新しい職場に移られます。池本機関長は5代目大島丸の運航会社に入られ、大島丸に乗ってくださいます。

水産科 片桐先生は本校の海洋科教員として着任になります

公民科 川崎先生は都内高校の教員として着任になります。

新大島丸のパンフレットを同封します。この時期にしか入手できません。